

今日もたべた？本ごはん

とうごうしょうがっこう とうしょくかん へいせい ねんど がつごう
東郷小学校 図書館だより 平成30年度 4月号

めざせ100さつ!



がつ うた 4月の詩

あいうえおん

つるみ まさお
鶴見 正夫

あのこと あのこと あのこと あいうえお
おでこと おでこを こつんこ
かけてく ふたりは かきくけこ
こぶたん あたまたが おおいたい
さんさん おひさん さしすせそ
そらから おでこを てらして
たんぼの かえるが たちつと
とんだり はねたり おおわらい
ならんで すわれば なにぬねの
のはらで だれかも わらつてる

はつばの かげからは ひびへほ
ほら ほら みつけた かたつわり
まてまて にげるな まみむめも
もちどつ の だせ あたま だせ
やまから ふく かせ やいゆえよ
よしよし おでこを さすつてく
らつばが きこえる らりるれる
ろくじに なつたら ひが くれる
わかれる ふたりは わいうえを
おでこの こぶたん もう ないよ
こぶたん の じで もう おしまい
あのこと あのこと さようなら



よろしく
おねがいます

にゅうがく しんきゅう 入学・進級おめでとございます

はるかぜ 吹かれ、すっかり桜の花も散り、若葉をゆする季節となりました。新しい1年がスタートしました。入学そして進級、おめでとうございます。新入生のみなさんは毎日が新しいことばかりで、ドキドキワクワクしていることでしょうね。

“図書館オリエンテーション”では「図書室のきまり」や目標冊数について確認しましたね。今年度の各学年の目標冊数が決まりました。1・2年生は120冊、3・4年生は100冊、5・6年生は80冊です。オリエンテーションでもお話ししましたが、まずは自分の学年の目標冊数をめざしましょう。前の学年でそれがクリアできている人は、去年の自分の冊数がこえられるようにがんばりましょう。

としよしつ やくそく 図書室の3つの約束

- ① 図書室に入ったら忍者になって“しのびの術”をつかいます
—しずかに活動するために—
- ② 本をとりだすときは、指でひっかけてとりだしません —本を大切に扱うために—
- ③ 本を返す場所がわからなくなったら、本の背ラベル(本の住所)をみます
—本をもとの場所に返すために—

としよしつ やくそく まも
図書室での約束を守って、みんなで気持ちよく利用しましょう



とうごうしょうがっこう としよしつ 図書室を、引き続き担当することになりました加治屋佐知子です。

どうぞよろしくお願ひします。

図書館だよりでは、「今月の詩」として毎月1つの詩を紹介していますが、国語の教科書をつくっている“光村図書出版”の編集部の方々が選んだ『声に出して楽しみたい詩』を紹介していきます。「国語の学習活動ではなく、ただ作品を楽しむ方法の一つとして『音読』というものに出会ってほしい」という、思いのもとに選ばれた詩です。ぜひ親子で声に出して読んで、楽しんでみてください♪



4月 おすすめの本

ほん

★今月は春にぴったりの

本を紹介します★



野原や空き地・水辺などエリアごとに分類した植物図鑑

『ハンディ版 学校のまわりでさがせる植物図鑑 春』

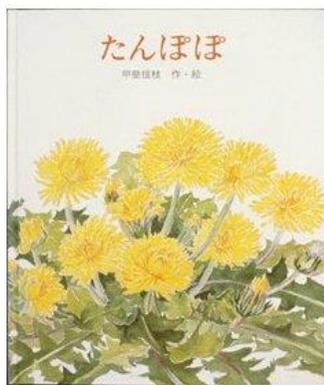


近田文弘 監修 平野隆久 写真 金の星社

この図鑑は学校の行き帰りに出会う草花の名前がわかるように作られています。ページをどんどんめくって、見つけた草花の写真を探してみてください。友だちになった草花がこれからどんなふう成長するか見守ると、その草花のことがもっとよくわかります。レンゲソウやシロツメクサなど、春に見られる野草が131種類載っています。特集ページではタンポポの綿毛やスミレのタネについて解説しています。

たんぽぽが綿毛をひらくのにどれくらいかかるか知ってる？

『たんぽぽ』



甲斐信枝 作・絵 金の星社

道ばたの花、たんぽぽはつぼみから花ひらいたあと、綿毛となって空へ舞い上がり、見知らぬ土地に根をおろします。ドラマチックな一生をたどるたんぽぽのすがたを精緻なタッチでえがいた絵本です。

もの音ひとつたてず、ひっそりと、けれどもひたむきに生きる生きものの感動を伝えます。

おおきくなるって、こういうこと！！



『おおきくなるっていうことは』



中川ひろたか 文 村上康成 絵 童心社

またひとつ大きくなったみんな、おめでとう。大きくなるってどんなことが、わかるかな？洋服が小さくなるってこと、水に顔を長くつけられるってこと、あんまり泣かないってこと、それから他にもいっぱいあるんだ！子どもが大きくなったということを感じながら、親子でいっしょに読んでみてください！

“パニック教室”が生まれ変わる日一。

『12歳たちの伝説（全5巻）』



後藤 竜二 作/鈴木 びん子 絵/新日本出版社

6年1組の新担任は若い女の先生だった。「シカトしようぜ」マッさんのひとことで、みんなはくると黒板に背を向けた。「パニック教室」といわれるクラスの子どもたちが、それぞれなりに成長しようとする姿を新しい担任との出会いの中でえがきます。新担任のゴリちゃんが大ききの中ははじめた詩の授業。その中で使われている川崎洋の「たんぽぽ」という詩も印象的です。

こんな教室だったらいいな♪こんな教室にしたいな♪

『教室はまちがうところだ』



時田 晋治 作/長谷川 知子 絵/子どもの未来社

「教室はまちがうところだ みんなどしどし手をあげてまちがった意見を言おうじゃないか まちがった答えを言おうじゃないか」

みんなの前で手をあげて発表するときの、ドキドキする気持ち、だれもが経験しているはず。そんな子どもたちを「まちがうことをおそれちゃいけない」とはげまし、まちがうなかで「ほんとのものを見つけていくのだ」「そうしてみんなで伸びていくのだ」と語りかけます。まちがうことなんか、こわくない！そんな教室つくろうやあ！